

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/01/13

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.28	-0.04
JPY/THB	0.2903	0.0014
USD/JPY	114.64	-0.66
EUR/THB	38.06	0.20
EUR/USD	1.1442	0.0075
USD/CNH	6.363	-0.015
SGD/THB	24.73	0.07
AUD/THB	24.24	0.22
USD/INR	73.92	0.01
USD Index	94.92	-0.71

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.420	0.001
10Y (THB)	2.074	0.002
5Y (USD)	1.519	0.020
10Y (USD)	1.743	0.007

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,827.3	8.8
WTI (Oil)	82.64	1.42
Copper	10,064.0	344.5

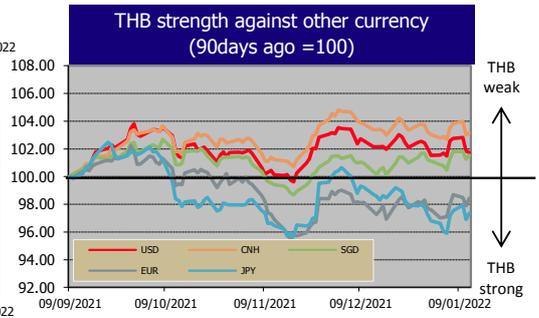
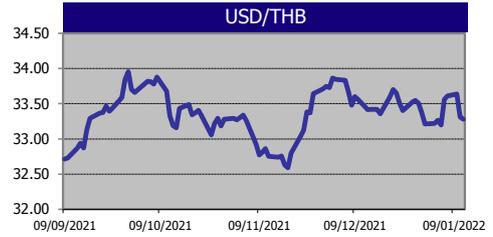
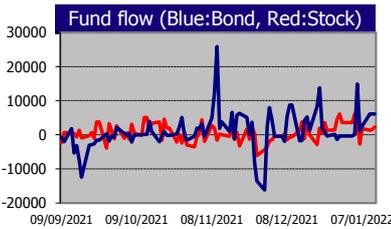
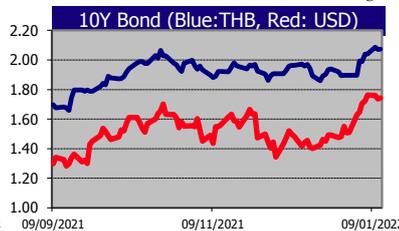
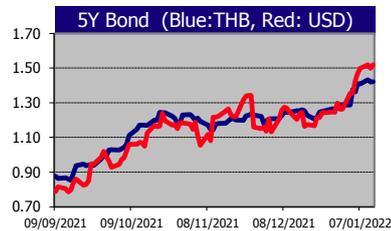
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,678.50	11.38
NIKKEI (JP)	28,765.66	543.18
DOW (US)	36,290.32	38.30
S&P500 (US)	4,726.35	13.28
SHCOMP (CN)	3,597.43	29.99
DAX(GER)	16,010.32	68.51

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	2,288	753.9
Bond net flow	6,145	0.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上に往って来いの展開。バンコク時間は33.30近辺でオープン。前日にパウエルFRB議長の指名公聴会を無難に通過したことで、リスクオフムードが後退するも、ドルパーツは短期のショートカバーから一時33.45近辺まで上昇。海外時間には注目の米12月消費者物価指数(CPI)が発表され、前年同月比の上昇率は+7.0%と39年ぶりの伸びを示したが、イベント一服感もあり、その後はドル売りの展開。ドルパーツも反落に転じ、結局オープン同水準まで値を戻してクローズした。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落。東京時間は115.35円近辺でオープン。アジア時間は米12月CPIの発表を前に横ばい推移。注目の米12月CPIは39年ぶりの伸びを示す結果となったが、事前予想の範囲内に収まったことから、FRBの金融緩和引き締め観測は一時後退。欧州等でオミクロン株の感染拡大が落ち着いてきていることもあり、イベント通過後はドル売りが強まる展開となり、ドル円は節目の115円をブレイク。そのまま一時114.40円近辺まで下落し、引けにかけては114.65円近辺まで値を戻してクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

年初より、米金利市場は2022年のFRB利上げ回数について、FOMC参加者による従来の予想中央値である3回を超え、4回目を織り込みに行くなど大きな動きを見せています。一方、米株は下落はしているものの、全ての銘柄が売られている訳ではなく、グロース株からバリュー株への入れ替えなども多く、今のところそれなりの底堅さを保っています。

米国では2022年11月に中間選挙があり、その近辺では政治的に株価下落が許容されないことを考えると、向こう半年の間にどれだけ金融緩和を解除してインフレを抑えられるか、ということが米政権とFRBの共通の課題設定と考えられます。現状程度の株価の下落であれば、FRBは心配することなく金融緩和解除を進めていくものと思われるため、引き続きリスク資産にとっては厳しい展開が続くものと考えます。(池澤)